

みとめあい
ささえあい
助けあい

「ふえふき通信」
支援センター

地域の防災訓練に参加！

地域に1人でも多くの理解者を

9月3日の防災訓練をレポート！
災害時、障がいがあってもなくても助け合えるように、
地域の人たちとお互いにできることを確認し合いました。



レポート
by 慶

1

高校生と中学生の姉妹が、新しいチャレンジ！

2人は毎日元気に支援学校に通っています。地域行事はいつもお母さんと一緒に参加している2人が、姉妹だけで地域の人たちと一緒に防災訓練に参加しました！

～防災訓練に参加して～



姉妹

サイレンの音が怖くて震えた。
ずっと言葉には出せなかったけど不安だった。
でも、2人(民生委員さん・お隣さん)が来てくれて嬉しかった。
けど来年はやだな…



区長さん

最初は、避難所に来るまでに時間がかかるかと思っただけ、時間内に来られて安心した。この地域はほとんどの人が防災訓練に参加しているの、声かけしながら来年も2人が参加できればいいな。

民生委員さん

普段の関わりからは気付かなかったことを、色々知ることができた。できるだけ多くの人と顔見知りになって、本人たちが安心してみんなと行動できるようにしたい。

お隣さん

とにかく不安にさせないよつな声掛けを心がけた。ここは優しい地域なので、みんなでお互いのことを知って助け合っていきたい。

お手伝い
バンダナを
使って避難
しました。



本当に地震があったら不安だけど、今回を通して地域の人たちに2人のことを知ってもらって良かった。助けを求めることを、少しでも2人に分かってもらえたら嬉しい。



お母さん

2

視覚障がいになってから、初めて地域の行事に参加！

ひとり暮らしで視覚障がいのTさんは、避難所の公民館まで歩く練習をしています。災害時は道路や建物が壊れている可能性があり、ひとり避難するのはとても危険です。災害時に備え、民生委員さんと一緒に防災訓練に参加しました！

～防災訓練に参加して～



Tさん

実際の災害時では、地割れや建物の倒壊もあるだろうし、ひとりでも公民館までいくことはできない。でも今回、防災訓練に参加して、民生委員さんや近所の人と一緒に行って来て安心した。目が見えなくなって初めてみんなのいるところに行き、声をかけてくれた人もいてホッとした。



区長さん

自分のことを知られたくないと思う方もいると思うが、実際に災害が起きた時には、お互いのことを知らないとい何もできないよね。

民生委員さん

隣近所で確認し合って、災害時には、Tさんだけでなく、中には○○さんがいると、誰かが気づいて声をかけ合えればいいな。

